

令和3年1月

○コロナ禍での学校教育はさぞかし大変とお察しします。保護者の対応も同様と思います。特に、「保護者のご意見」を拝見しますに、我々の年代には理解しがたい記述も見受けられます。大変とは思いますが、子供のためです。よろしくお願いします。

○過去に経験のないコロナ禍の中、地域とのかかわりも薄れ、寂しい一年でした。社協小熊支部として凧揚げ等企画しましたが中止になってしまい残念です。子供の姿は今も昔も変わらないような気がします、社会環境、生活している身の回りの変貌、時の流れが早送りのように早くなっています。

人間形成の基礎は、小学校6年間にあるように思われます。先生方の「やりがい」に感謝します。ありがとうございます。年度末にあたり、社協支部長を卒業（退任）します。心残りの一年でしたが、ご協力をいただき、ありがとうございました。

○今年度は、従来の学校教育活動のスタイルを変更しなければならない状況下で、先生方は大変ご苦勞をされてきたと思います。

その中であって、学校評価（保護者）アンケートの結果を見ますと、おおむね良い評価をいただいております、好意的な意見も多く、保護者も学校のご努力をよく受け止めておられるようでありがたく思います。

私は、「出来ることはやります。出来ないことは出来ません」という学校や教育委員会の毅然とした意思を、保護者・地域にも躊躇なく伝えることが大切だと思います。過去には、「学校教育もサービス業」というような風潮があり、保護者や地域の要望に応え、満足を与えなければならない、という意識が強かったと思います。その結果、学校が抱える仕事量が膨大になり、過剰労働を強いられ、「できません」と言うことが罪のような感覚が教員に生まれたと思っています。そんな風潮を払拭するような、働き方改革の具体的な取組やその成果も見られ、望ましい方向に向かっていると思います。はやく従来の教育活動や地域行事が出来るようになることを祈念しております。

○学校運営協議会に参加してから4年目になります。田植え、稲刈り、サツマイモの収穫、昔の遊びなど農業体験のない私ができるのかなと思っておりましたが、老人クラブの皆さんに多くの参加をしてもらい、ネットでの勉強も少々。

5年生の皆さんの田植え、稲刈り、はだしで田んぼに入り、稲刈りでは泥んこになりながらの作業、終わってから楽しかったといってくれましたので、ほっとしました。感謝の会でのおはぎ、お汁粉、美味しかったです。

1, 2年生のサツマイモ掘り、虫が出てきたり、ミミズが出てきたりしてちょっと

怖かったかな。「サツマイモをてんぷらにしたらおいしかった」とか、「うまかった」とか「芋ほり手伝ってくれてありがとう」など皆さんからの手紙にあの日の表情が目に浮かんできます。

昔の遊び、けん玉、こま、おはじき、老人クラブの皆さんが楽しそうでした。

見守り、「暑い日も寒い日も私たちのことを見守ってくださり、ありがとうございます」と感謝状をいただき、大きなメダルもいただきました。私の大切な宝物です。老人クラブの皆さん方に、登下校時の見守りを何度もお願いした次第です。

児童の皆さんとのふれあい、いつも元気に大きな声で挨拶、お礼の手紙、小熊小学校の皆さんは、明るくて優秀なみなさんです。私は、小熊小学校へ2度目の入学をした思いです。充実した日々を過ごさせていただき感謝しております。

まだまだコロナ感染が続いています。小熊小学校の皆さん、コロナに負けるな。

○今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校に訪問する機会が極端に減少し、子供さんたちの姿を見れなかったのが非常に残念です。しかし、幸いにもコロナ発症者がゼロなので、全員健康であるとの証拠だと思っています。(令和3年1月末現在)先生方も行事もまともにできず、休校もあり、学習時間・内容などに頭を悩まされ、ご苦労されておられると推察しております。今年度はこのままの状況が続くと思われませんが、子供たちの「思い出作り」を考えていただきたいと思います。最後に、新型コロナウイルス感染予防の「8つの言葉」(羽島市発表)を守り、健康で生活することをお互いに努力しましょう。

○GIGAスクール構想、iPad配付、教育の発想が多様化していきそう。コミュニティスクールでも情報共有化が可能になる。

教職員の働き方改革が少しずつ進んできているのは良いことです。今後も一層推進してください。

地域活動が停止状況で、コロナ終了後の活動に変化が出てくるかもしれない。相互に協力して、良い方向になってほしい。

○本年度は、例年とは違う対応をしなければならず、先生方の体力的・精神的な負担も大きいと思います。その中でもコロナ感染対策を行い、行事内容も工夫されておられるのを拝見し、感心します。

子供たちの公園で遊ぶ姿を見かけますが、皆元気に遊んでいます。会話を避けるためか、ベンチでゲームをする姿も見られます。早くマスクなしで思いっきり遊べるようになることを祈ります。

先日、近所で遊んでいた子供たちと後片付けを一緒にしました。その後全員でわざわざお礼を言いに来てくれて感心するとともに、大変うれしかったです。

学校より

本校に対する温かいお言葉をいただきまして、誠にありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のための対応に時間をかけた1年となりました。3密回避やソーシャルディスタンスの必要性を訴えるほど、学校や地域への帰属意識が薄れていくのではないかと心配もしています。小熊で学び、小熊で育ち、小熊に貢献する人材を育成していくために、コロナ禍においても、人とのつながりをより一層大切にしていかなければならないと感じています。ありがとうございました。